

仕 様 書

1 件名

「消費者ニーズや社会的課題に対応した肉用牛生産に関連する広報動画」の
制作業務

2 目的

資材価格高止まりや諸物価高騰下での牛肉消費低迷の中、多様化する消費者ニーズへの対応や生産コストの低減、温室効果ガスの排出削減にもつながる生産性の向上が経営継続や国民消費者の支持を得ていく上で喫緊の課題となっている。これら社会的課題についての生産者・関係者間での共通認識の醸成とこれに対応した生産者サイドの取組みについての消費者の理解を得るため、関連する情報を映像、音声等により、分かり易く解説し、大規模イベント会場での上映やホームページ等での配信を行うための広報動画を制作することで、需要や社会的課題等に対応した肉用牛生産体制の推進と消費者の国産牛肉への理解醸成を図る。

3 請負内容

- ・作成に係る企画検討の実施と必要に応じた協会事務局との打合せの実施、定期的な進捗状況報告
- ・現地へ取材・映像撮影（必要に応じ、協会事務局が行う事例調査への同行等含む）
- ・自社映像素材の編集（映像素材の詳細は提案書に記載すること）
- ・制作した動画を収めた記録メディアの納品

4 請負期間

委託契約締結日より令和9年2月末日までとする。

5 請負費の支払

協会による制作動画のチェック並びに試写を経た上で、動画の納品をもって、提案書の応札額に基づく金額を支払うものとする。なお、支払項目は、動画制作費一式とし、それ以外の費用は認めないものとする。

6 納品物件

ウェブブラウザ（Microsoft edge、Google chrome または Firefox 等）で再生可能な形式（MPEG-4／H.264 等）で制作された動画を収めた記録メディア。

なお、納品するデータは本編1式（20分程度）、本編のダイジェスト版1式（3分程度）、8に掲げるテーマごとに、それぞれ単独で視聴できるテーマ別動画のデータ1式（各3～5分程度）とする。

7 制作動画の活用

納品のあった制作動画については、様々なイベント会場での放映や協会ホームページ内への掲載のほか、パンフレットや展示パネル等に掲載するQRコードから動画へ誘導するなど、肉用牛農家や畜産関係者ならびに消費者等が常時閲覧できるようにする。

8 テーマ（構成に含まれるべき内容）

- ① 肉用牛生産の現状とその意義（生産の現状、良質な牛肉の供給、地域資源活用、地域の活性化等）
- ② 肉用牛生産の歴史（役牛から肉用牛、輸入自由化等を背景とした改良の歴史等）
- ③ 肉用牛生産が直面する課題（多様な消費者ニーズへの対応、環境負荷軽減・地域循環型生産の推進等）
- ④ 様々な課題への新たな対応（生産技術の向上・スマート化、出荷の早期化技術の普及、地方特定品種（褐毛和種、日本短角種等）の生産振興等、地域資源の利用・循環、温室効果ガス排出削減等）
- ⑤ 未来につながる肉用牛生産（生産基盤の強化、遺伝的多様性の確保や時代の要求に対応した改良、若手経営者や農業大学校や高校生等の取組み等）

9 納品期限

令和9年2月末日

10 納品場所

一般社団法人全国肉用牛振興基金協会

11 特記事項

（1）著作権等の取扱い

制作動画の解説文章（テロップ）・画像・映像・音楽等内容に含まれる権利は、納品後は協会に帰属するものとする。

（2）肖像権等の許諾

制作動画は出演者等の肖像権及び映像制作過程で生ずる諸権利について使用の許諾

を得たものであるものとする。

(3) 構成案

制作動画の構成・内容等については、協会担当者と協議することとする。

また、協会からの申し出がある場合、撮影等に担当者が立ち会うことを許可するものとする。

(4) 試写

推進委員・有識者、並びに協会担当者等に対し、制作動画の試写を行い、委員等からの指摘に基づき、動画を修正するものとする。

(5) その他

本仕様書に記載のない事項または不明な点については、協会担当者と協議するものとする。